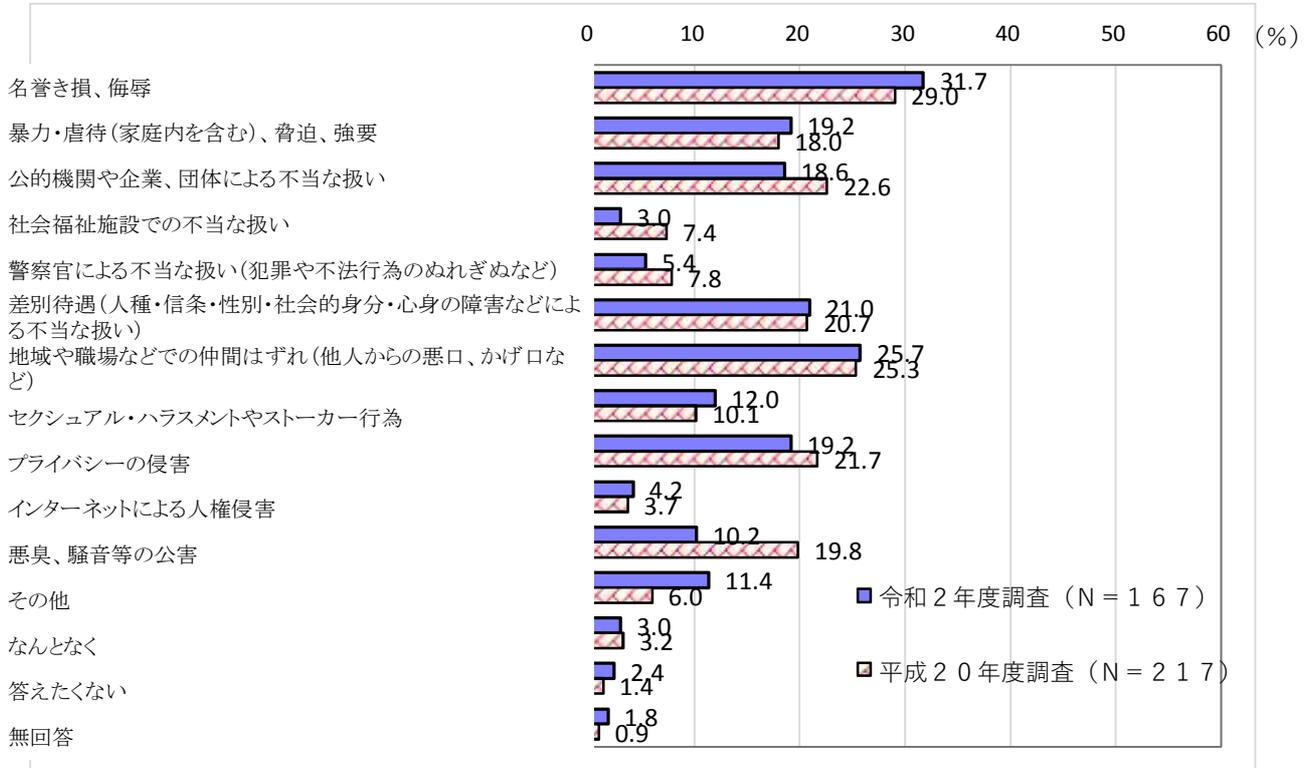


(8) 人権を侵害されたと思った内容
【問4で「1 ある」を選んだ人のみ回答】

問4-2 (1) あなたが侵害されたと思った内容はどのようなものでしたか。(✓はいくつでも)

図4-2(1)-1 人権を侵害されたと思った内容 (経年比較)

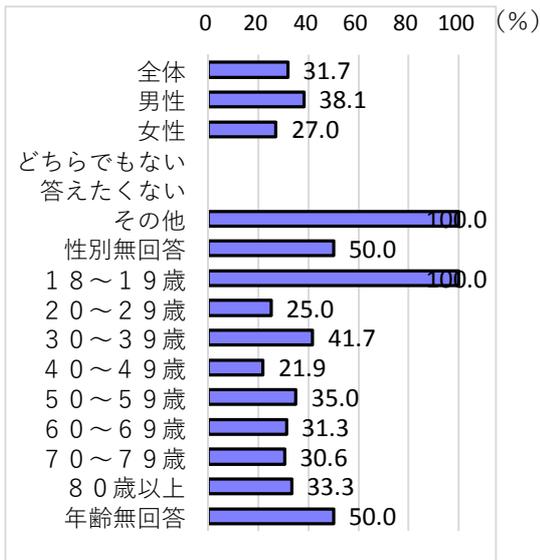


人権が侵害されたと思ったことが「ある」と答えた人(167人)にその内容を尋ねたところ、「名誉き損、侮辱」と答えた人が31.7%で最も高く、以下、「地域や職場などでの仲間はずれ(他人からの悪口、かげ口など)」(25.7%)、「差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分・心身の障害などによる不当な扱い)」(21.0%)、「暴力・虐待(家庭内を含む)、脅迫、強要」(19.2%)、「プライバシーの侵害」(19.2%)の順となっている。

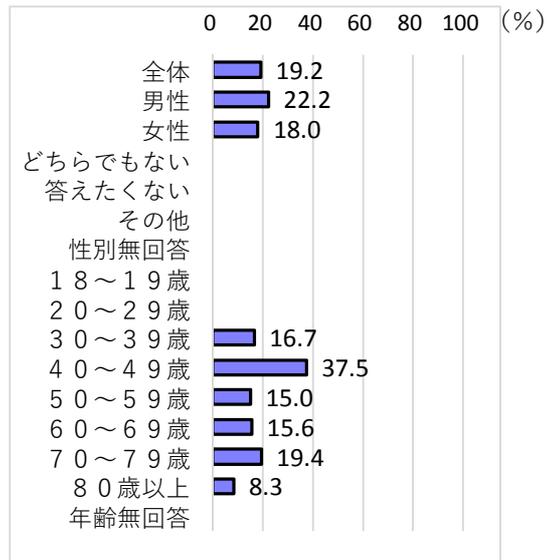
平成20年度調査と比較すると、上位2項目は順位も回答率もほぼ同じであるが、「悪臭、騒音等の公害」は9.6ポイント、「社会福祉施設での不当な扱い」は4.4ポイント低くなっている。

図4-2(1)-2 人権を侵害されたと思った内容 (性・年齢別)

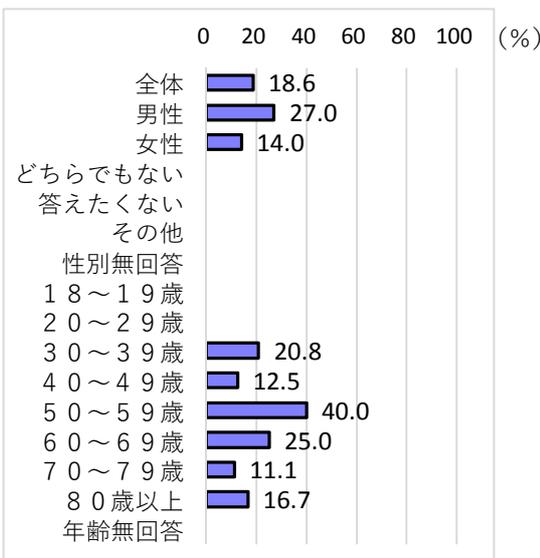
名誉き損、侮辱



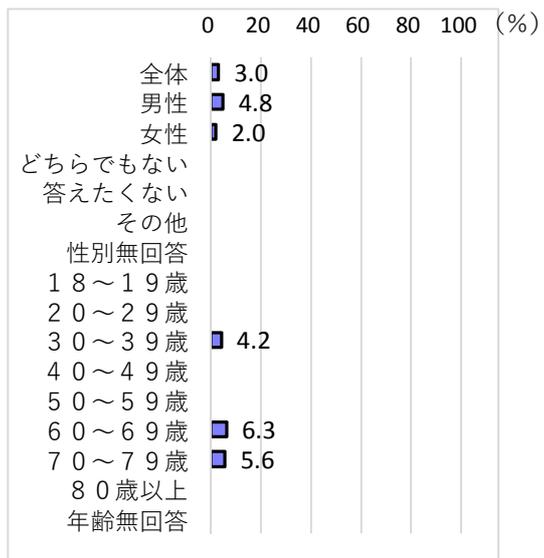
暴力・虐待(家庭内を含む)、脅迫、強要



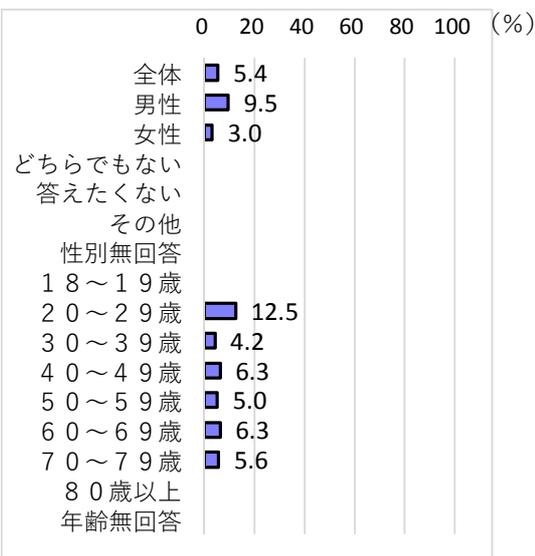
公的機関や企業、団体による不当な扱い



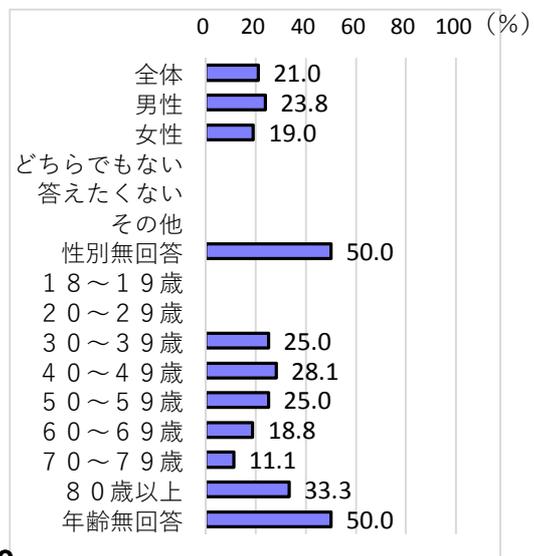
社会福祉施設での不当な扱い



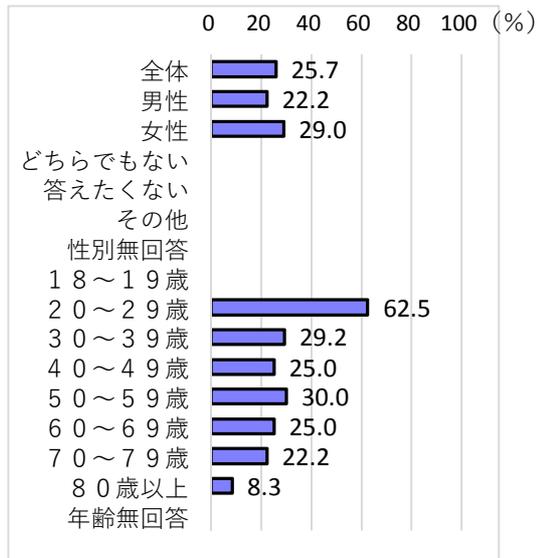
警察官による不当な扱い(犯罪や不法行為のぬれぎぬなど)



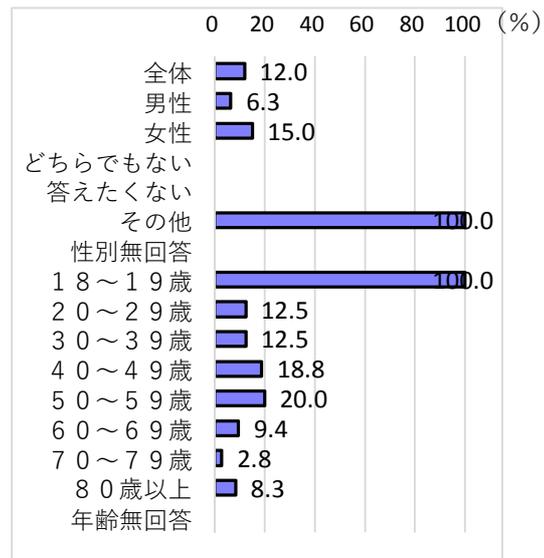
差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分・心身の障害などによる不当な扱い)



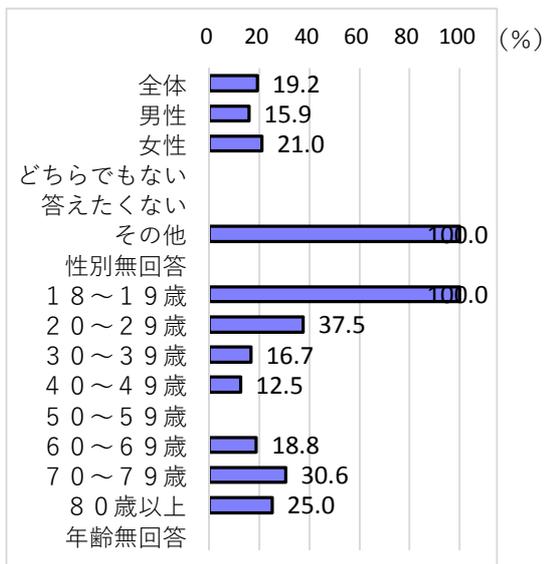
地域や職場などでの仲間はずれ(他人からの悪口、
かけこなど)



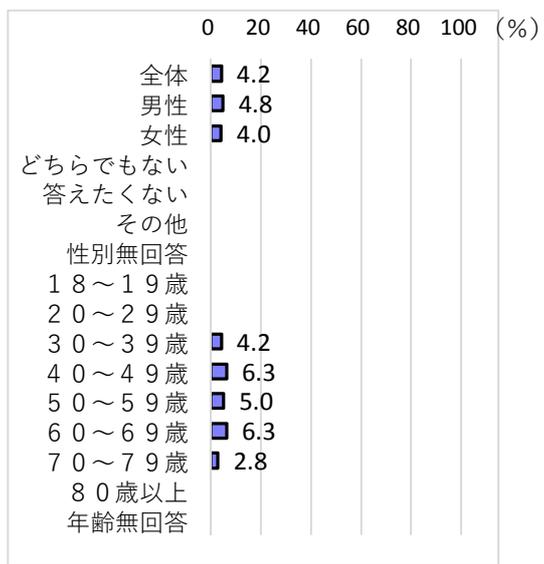
セクシュアル・ハラスメントやストーカー行為



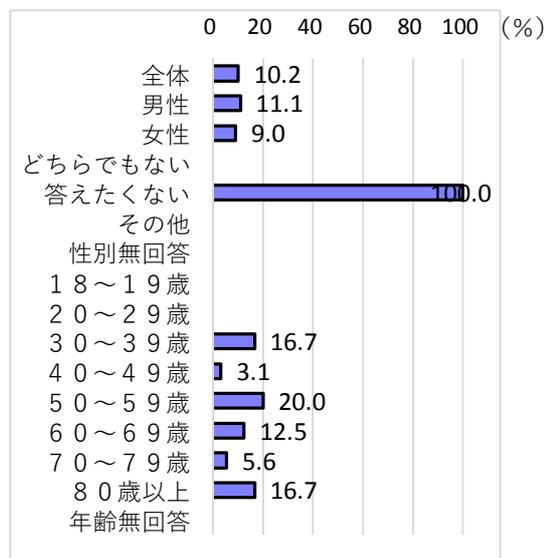
プライバシーの侵害



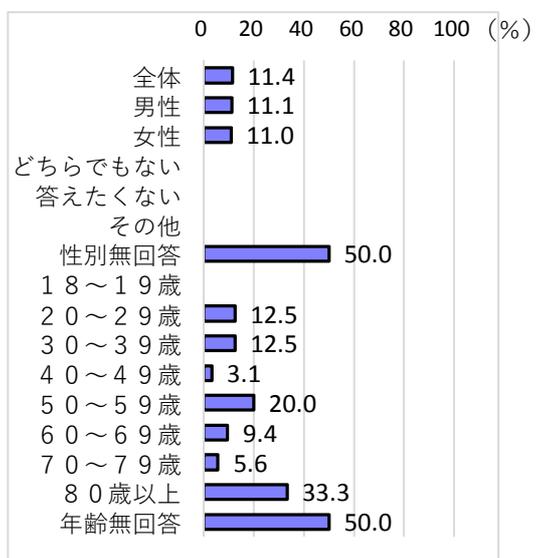
インターネットによる人権侵害



悪臭、騒音等の公害

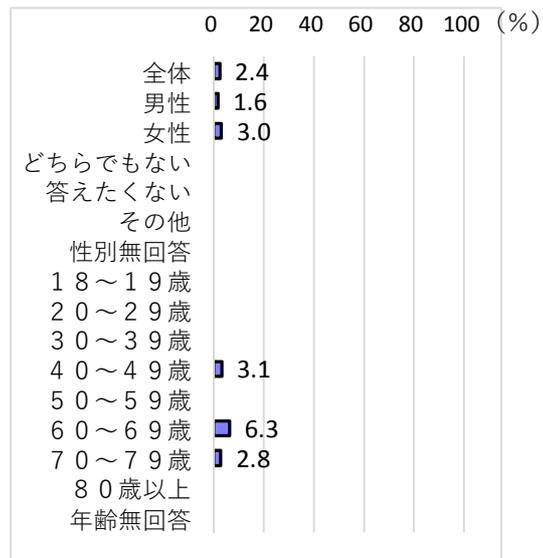


その他



なんとなく

答えたくない



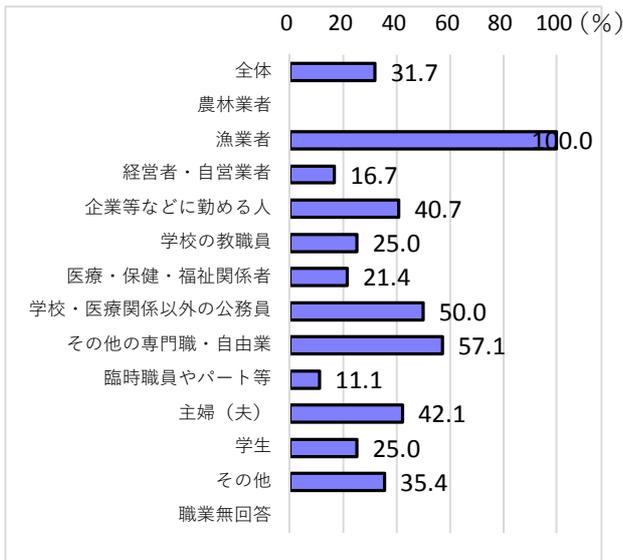
全体	(N=167)
男性	(N=63)
女性	(N=100)
どちらでもない	(N=0)
答えたくない	(N=1)
その他	(N=1)
性別無回答	(N=2)
18～19歳	(N=1)
20～29歳	(N=8)
30～39歳	(N=24)
40～49歳	(N=32)
50～59歳	(N=20)
60～69歳	(N=32)
70～79歳	(N=36)
80歳以上	(N=12)
年齢無回答	(N=2)

人権が侵害されたと思った内容について性別にみると、男性は女性に比べ「公的機関や企業、団体による不当な扱い」(13.0ポイント差)、「名誉き損、侮辱」(11.1ポイント差)の回答割合が高くなっている。一方、女性は男性に比べ「セクシュアル・ハラスメントやストーカー行為」(8.7ポイント差)、「地域や職場などでの仲間はずれ(他人からの悪口、かげ口など)」(6.8ポイント差)の回答割合が高くなっている。

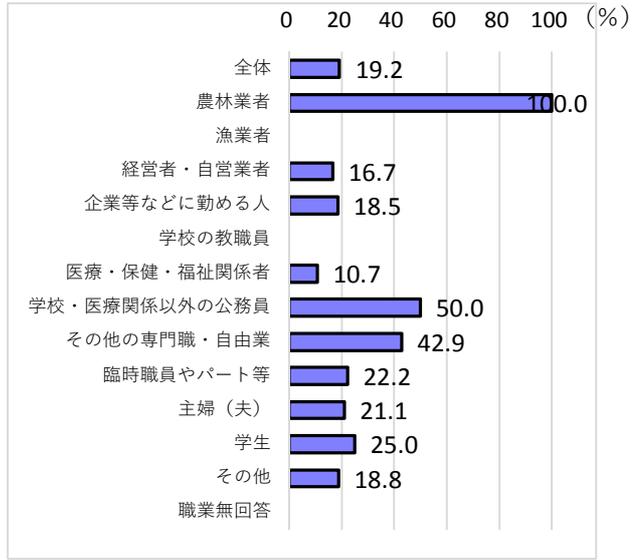
また、年齢別にみると、60歳以上では「名誉き損、侮辱」の回答割合が最も高く、20歳～29歳では、「地域や職場などでの仲間はずれ(他人からの悪口、かげ口など)」(62.5%)の回答割合が高くなっている。

図4-2(1)-3 人権を侵害されたと思った内容（職業別）

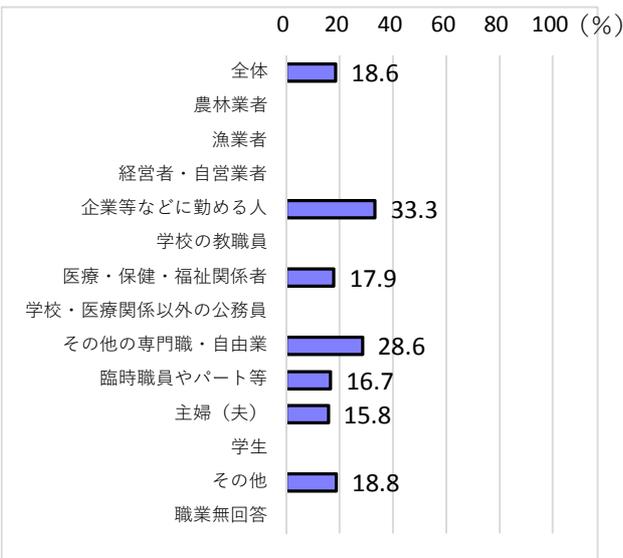
名誉き損、侮辱



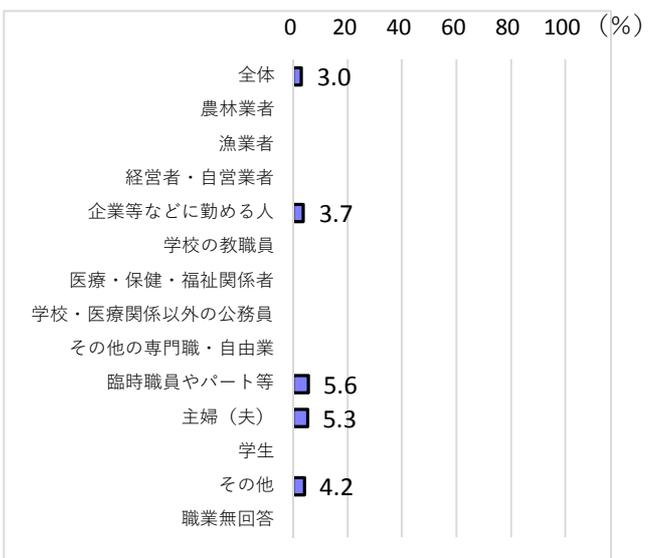
暴力・虐待(家庭内を含む)、脅迫、強要



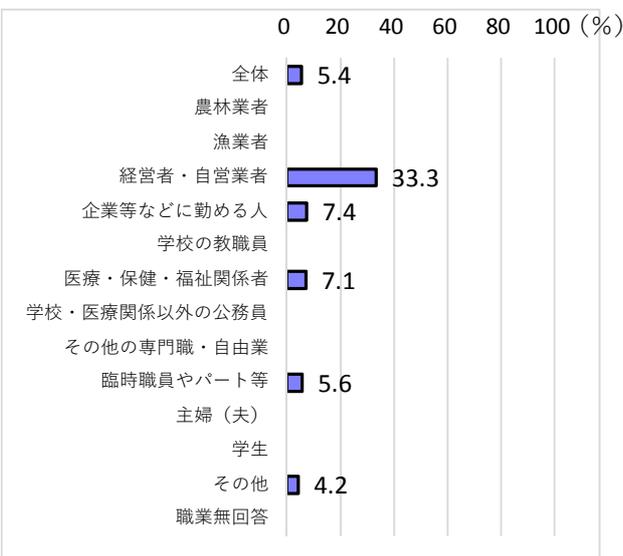
公的機関や企業、団体による不当な扱い



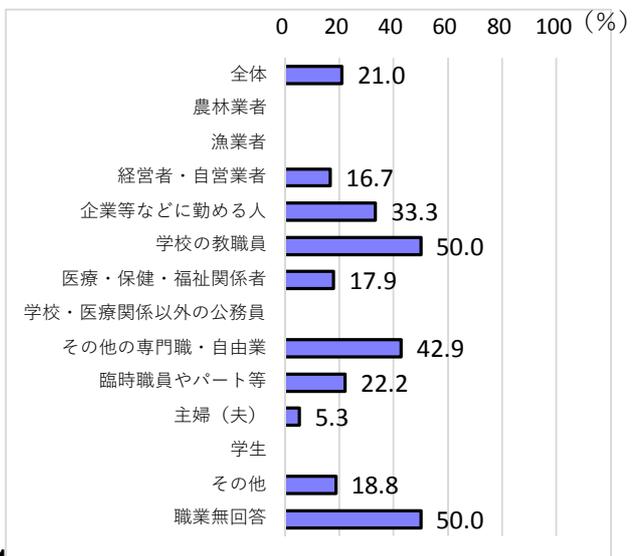
社会福祉施設での不当な扱い



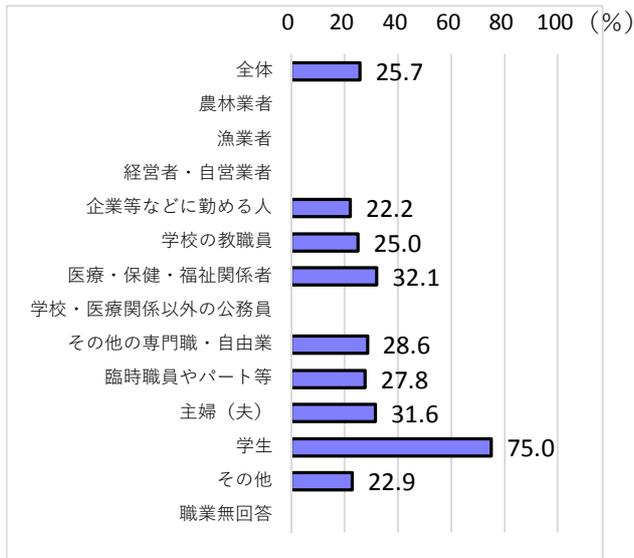
警察官による不当な扱い(犯罪や不法行為のぬれぎぬなど)



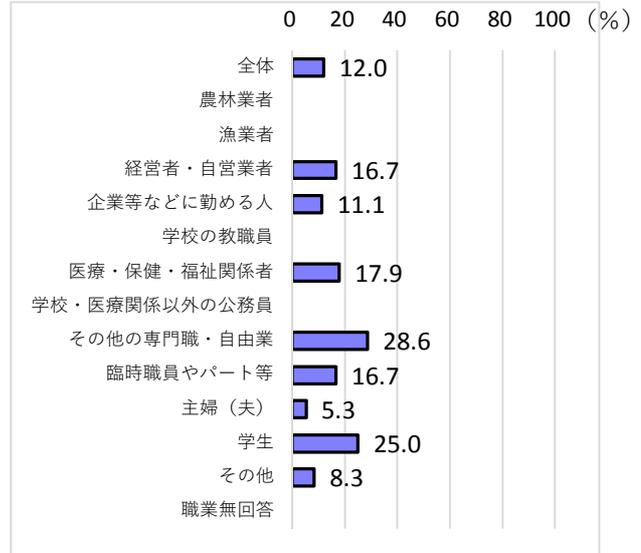
差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分・心身の障害などによる不当な扱い)



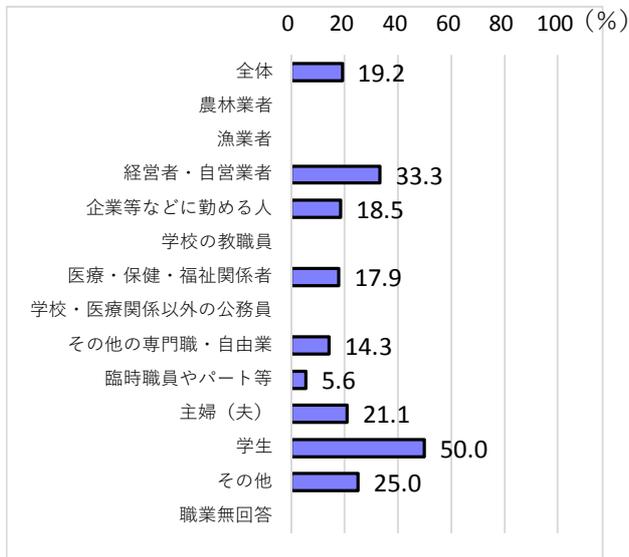
地域や職場などでの仲間はずれ(他人からの悪口、
かけこなど)



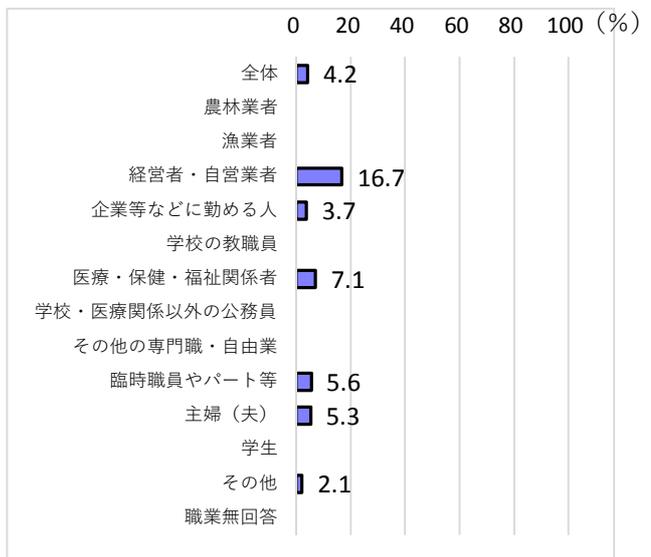
セクシュアル・ハラスメントやストーカー行為



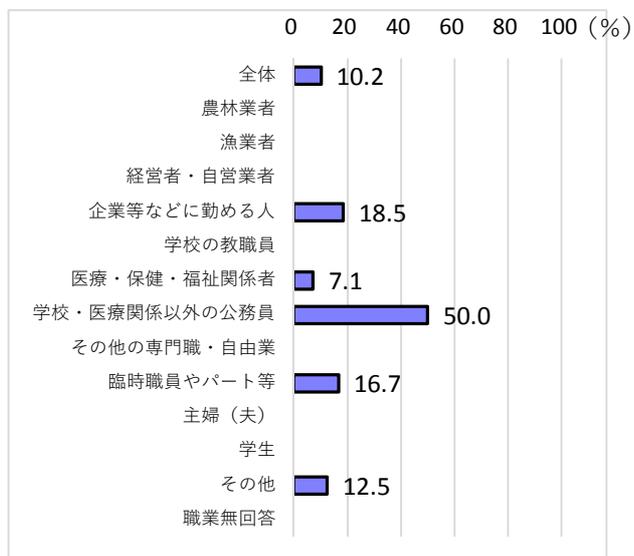
プライバシーの侵害



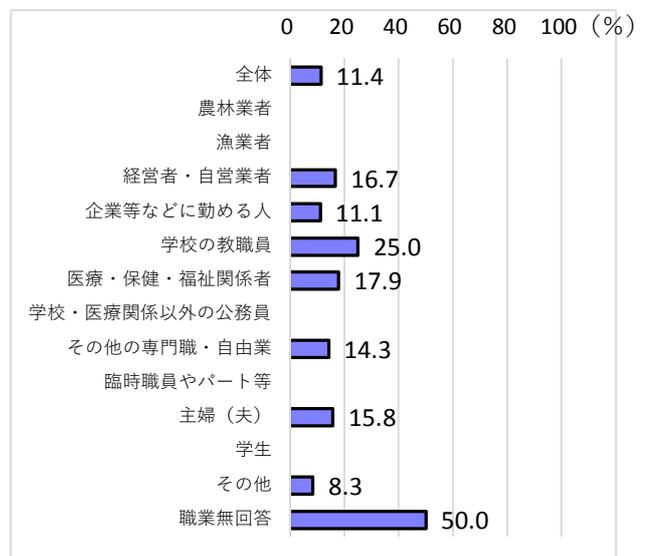
インターネットによる人権侵害



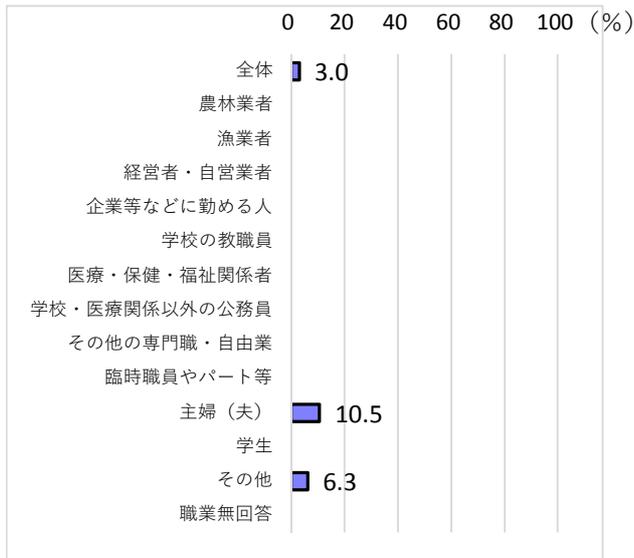
悪臭、騒音等の公害



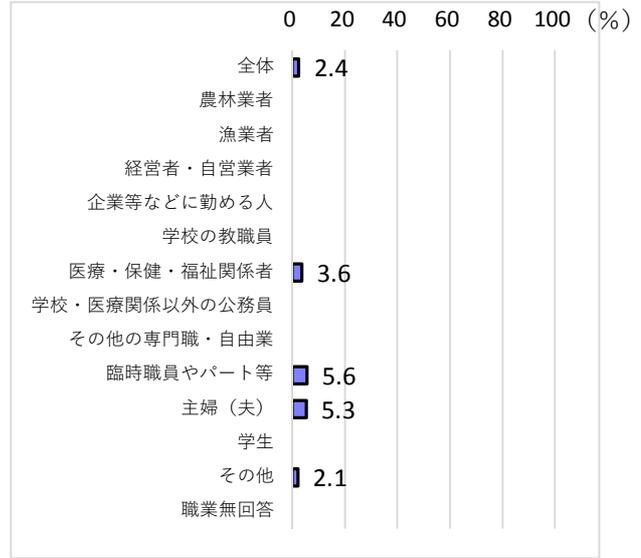
その他



なんとなく



答えたくない



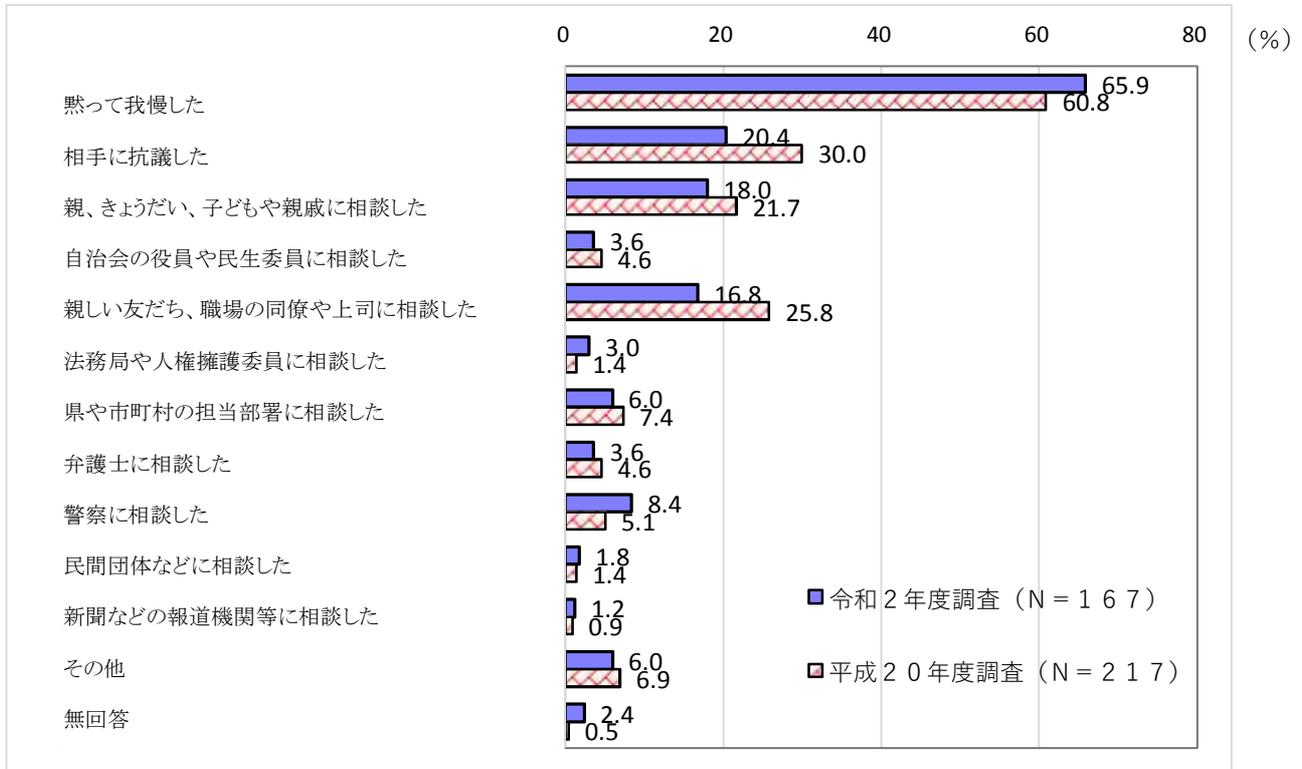
全体	(N=167)
農林業者	(N=1)
漁業者	(N=1)
経営者・自営業者	(N=6)
企業等に勤める人	(N=27)
学校の教職員	(N=4)
医療等の関係者	(N=28)
その他の公務員	(N=2)
他の専門職・自由業	(N=7)
臨時職員・パート等	(N=18)
主婦(夫)	(N=19)
学生	(N=4)
その他	(N=48)
職業無回答	(N=2)

人権が侵害されたと思った内容について職業別にみると、職業によって異なるものの、ほとんどの職業において「名誉き損、侮辱」の回答割合が最も高くなっている。また、学生においては「地域や職場などでの仲間はずれ(他人からの悪口、かげ口など)」(75.0%)の回答割合が高くなっている。

(9) 人権を侵害された際の対処法
【問4で「1 ある」を選んだ人のみ回答】

問4-2 (2) そのとき、あなたはどうかされましたか。(✓はいくつでも)

図4-2(2)-1 人権を侵害された際の対処法 (経年比較)

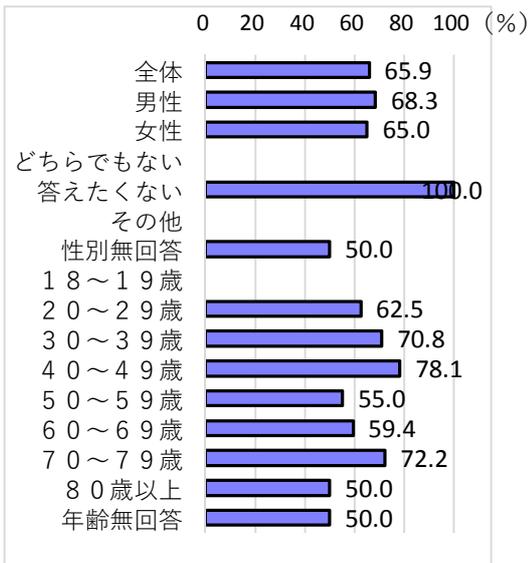


人権が侵害されたと思ったことが「ある」と答えた人(167人)にその対処法を尋ねたところ、「黙って我慢した」と答えた人が65.9%で最も高く、以下、「相手に抗議した」(20.4%)、「親、きょうだい子どもや親戚に相談した」(18.0%)、「親しい友だち、職場の同僚や上司に相談した」(16.8%)の順となっている。

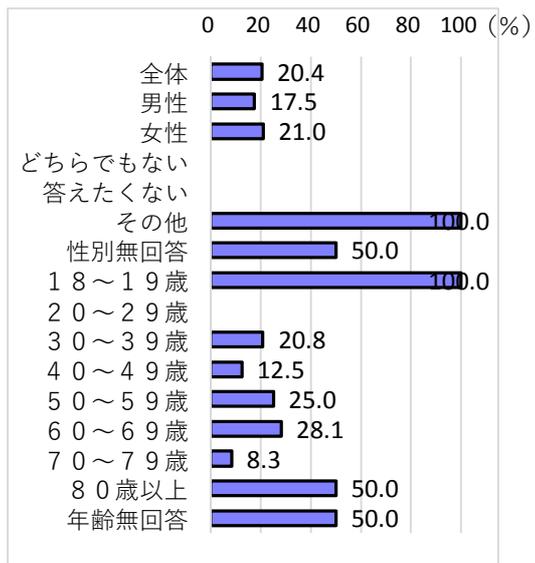
平成20年度調査結果と比較すると、前回調査同様、「黙って我慢した」と答えた人の回答割合が圧倒的に高くなっている。

図4-2(2)-2 人権を侵害された際の対処法 (性・年齢別)

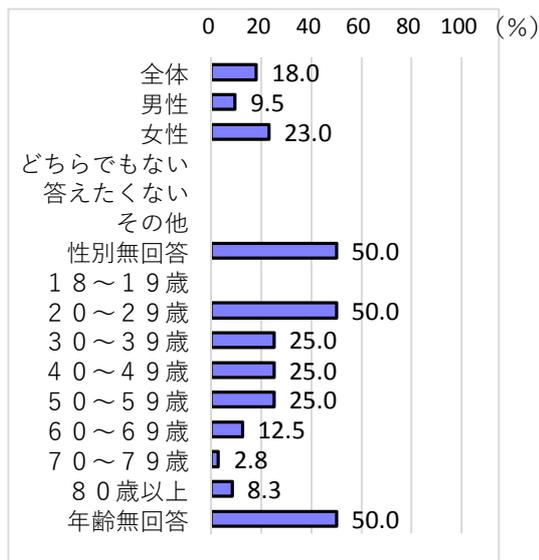
黙って我慢した



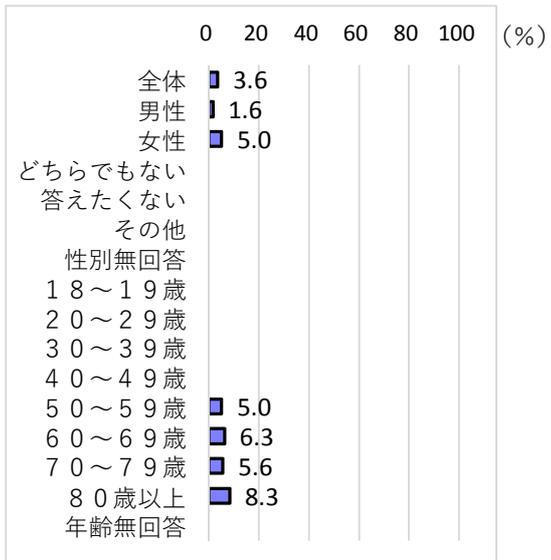
相手に抗議した



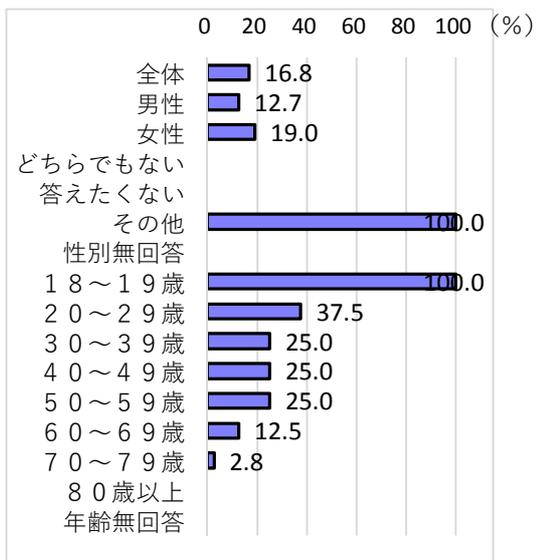
親、きょうだい、子どもや親戚に相談した



自治会の役員や民生委員に相談した



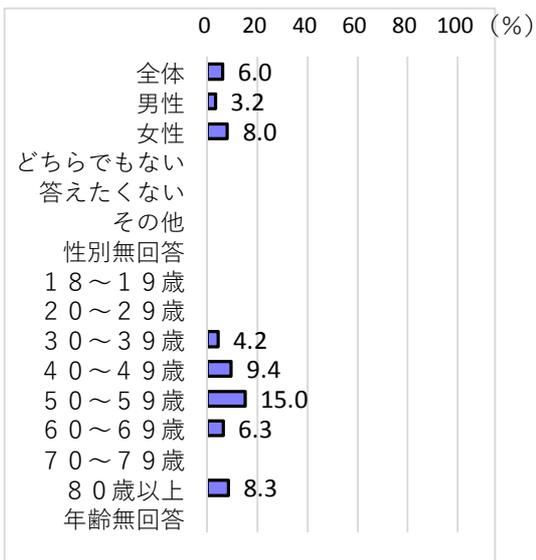
親しい友だち、職場の同僚や上司に相談した



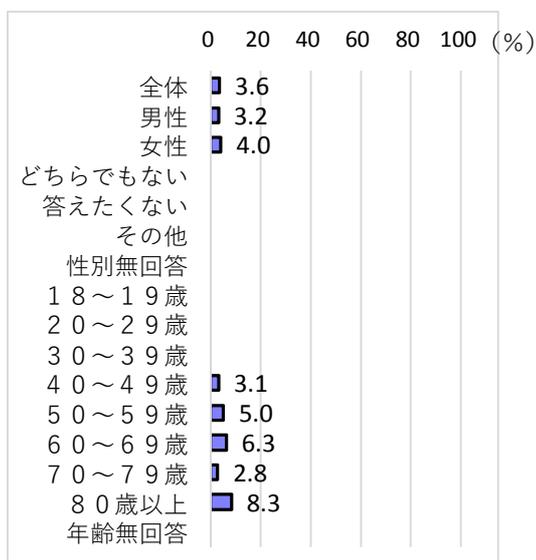
法務局や人権擁護委員に相談した



県や市町村の担当部署に相談した



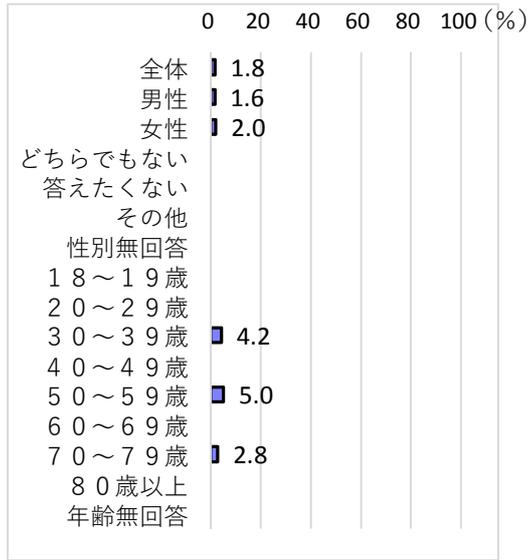
弁護士に相談した



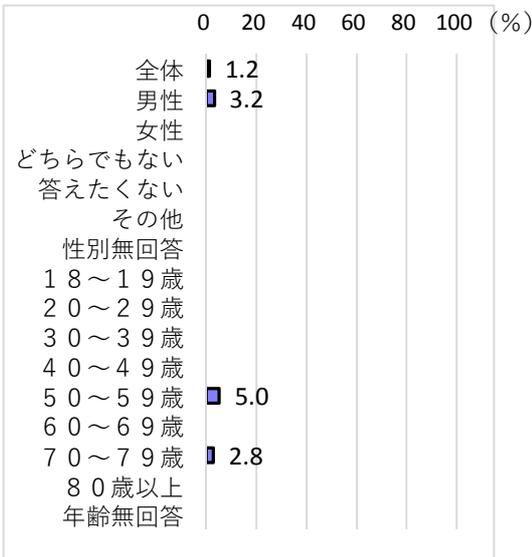
警察に相談した



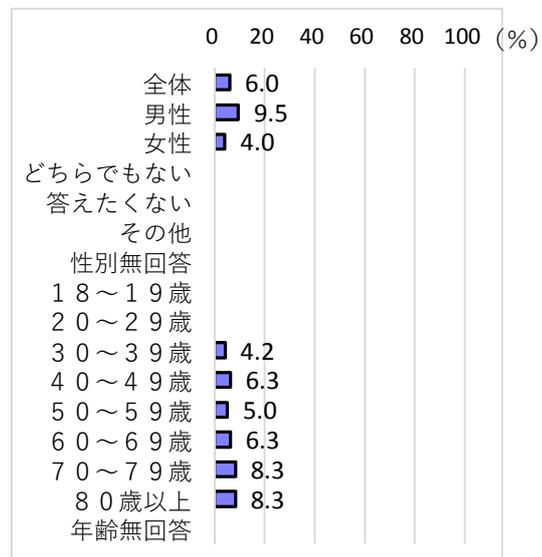
民間団体などに相談した



新聞などの報道機関等に相談した



その他



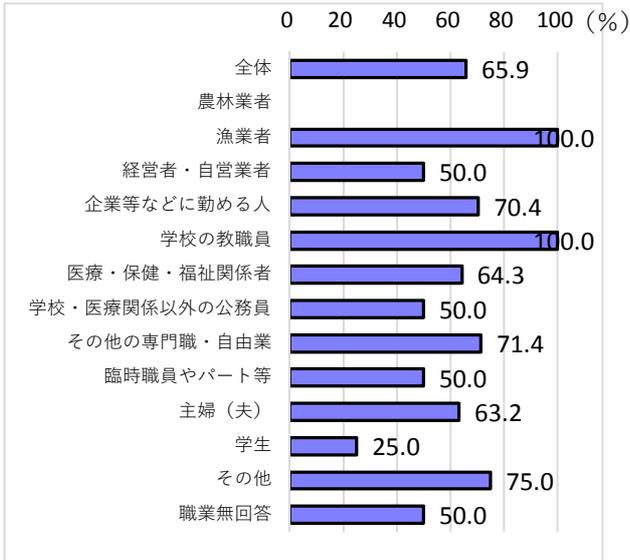
全体	(N=167)
男性	(N=63)
女性	(N=100)
どちらでもない	(N=0)
答えたくない	(N=1)
その他	(N=1)
性別無回答	(N=2)
18～19歳	(N=1)
20～29歳	(N=8)
30～39歳	(N=24)
40～49歳	(N=32)
50～59歳	(N=20)
60～69歳	(N=32)
70～79歳	(N=36)
80歳以上	(N=12)
年齢無回答	(N=2)

人権が侵害された際の対処法について性別にみると、男女ともに「黙って我慢した」の回答割合が最も高く、男性は女性に比べ「黙って我慢した」(3.3ポイント差)、「新聞などの報道機関等に相談した」(3.2ポイント差)の回答割合が高くなっている。一方、女性は男性に比べ「親、きょうだい、子どもや親戚に相談した」(13.5ポイント差)、「親しい友だち、職場の同僚や上司に相談した」(6.3ポイント差)の回答割合が高くなっている。

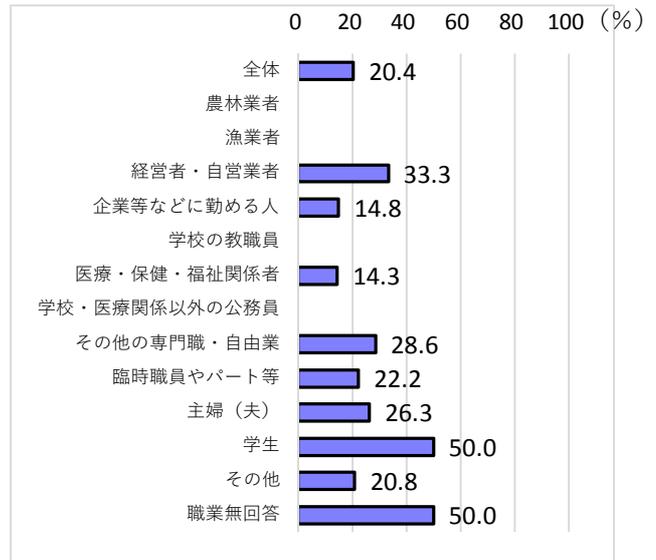
また、年齢別にみると、20歳以上では「黙って我慢した」の回答割合が最も高く、30歳～49歳、70歳～79歳では、7割を超えている。

図4-2(2)-3 人権を侵害された際の対処法 (職業別)

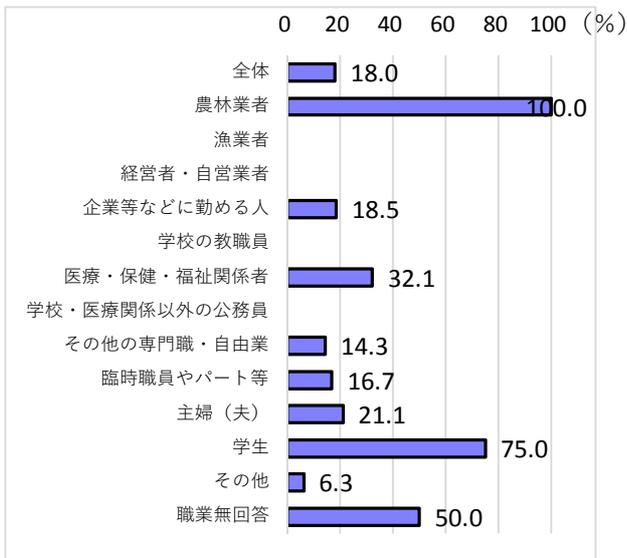
黙って我慢した



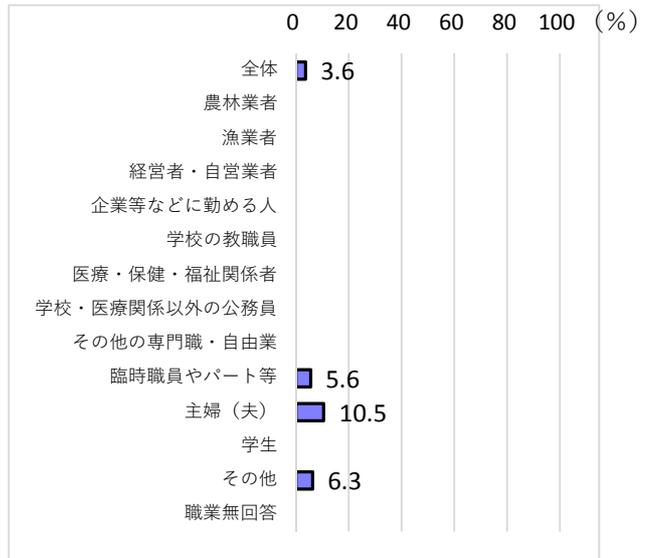
相手に抗議した



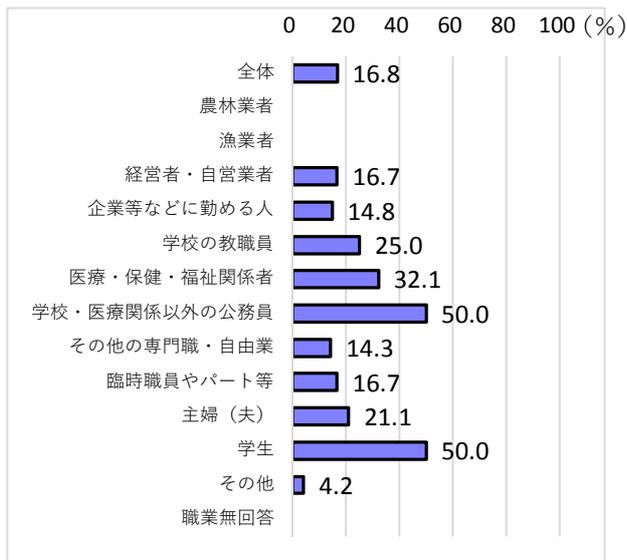
親、きょうだい、子どもや親戚に相談した



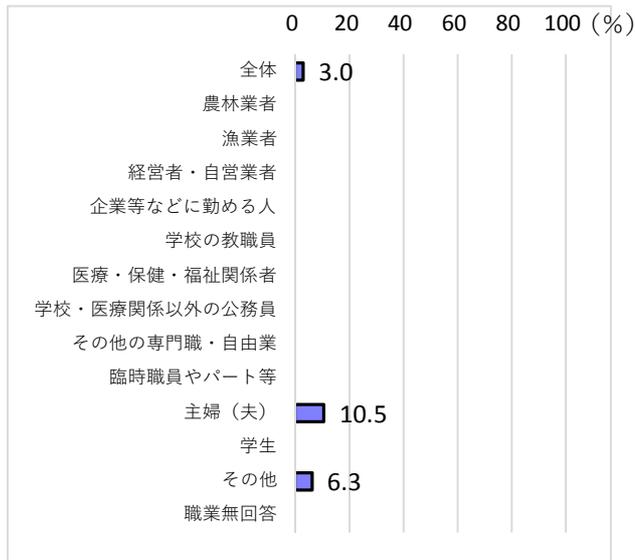
自治会の役員や民生委員に相談した



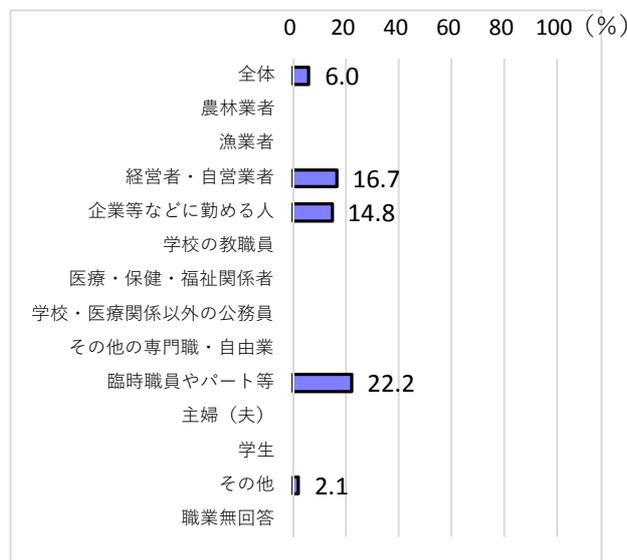
親しい友だち、職場の同僚や上司に相談した



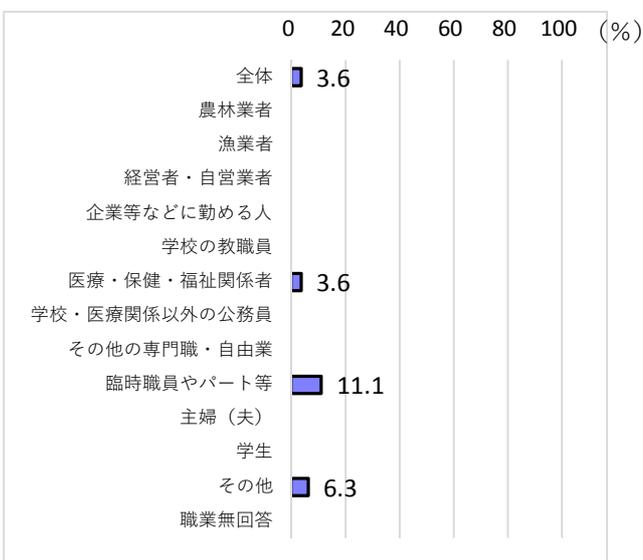
法務局や人権擁護委員に相談した



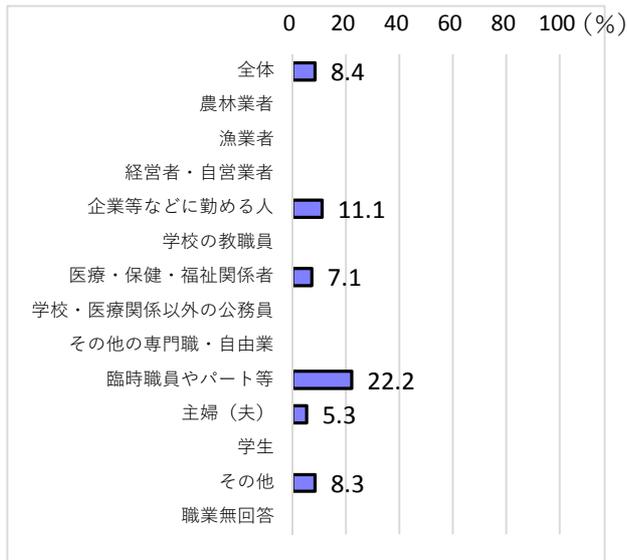
県や市町村の担当部署に相談した



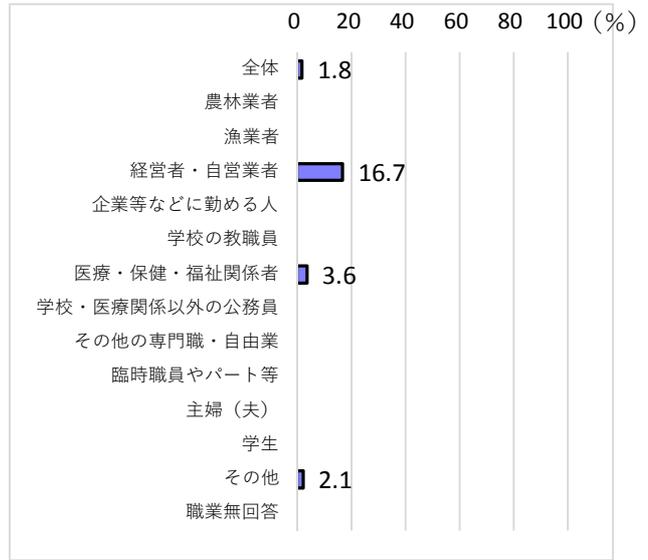
弁護士に相談した



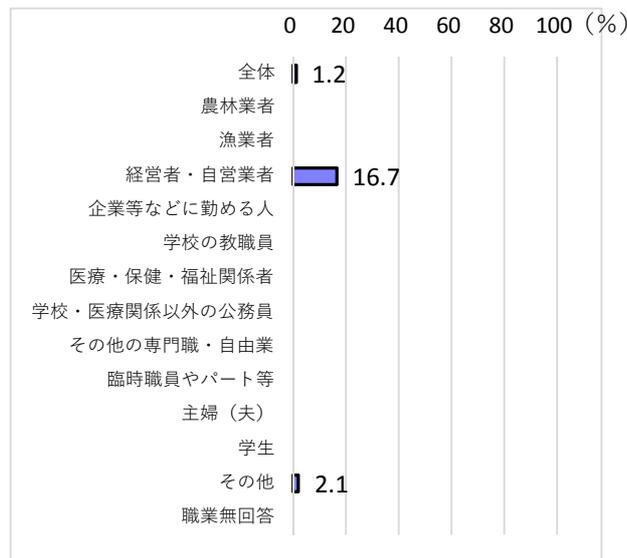
警察に相談した



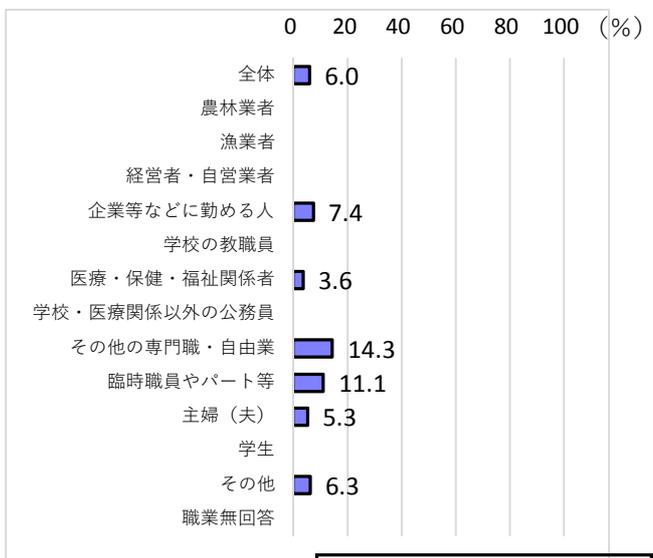
民間団体などに相談した



新聞などの報道機関等に相談した



その他



全体	(N=167)
農林業者	(N=1)
漁業者	(N=1)
経営者・自営業者	(N=6)
企業等に勤める人	(N=27)
学校の教職員	(N=4)
医療等の関係者	(N=28)
その他の公務員	(N=2)
他の専門職・自由業	(N=7)
臨時職員・パート等	(N=18)
主婦(夫)	(N=19)
学生	(N=4)
その他	(N=48)
職業無回答	(N=2)

人権が侵害された際の対処法について職業別にみると、ほとんどの職業において「黙って我慢した」の回答割合が最も高くなっている。また、農林業者や学生においては「親、きょうだい、子どもや親戚に相談した」の回答割合が他の職業に比べ高くなっている。